

# 空 | 人類の航空技術開発の歴史と物語にふれる「航空エリア」



人類が初めて空を飛んだ始まりの飛行機から最先端まで航空機技術史を俯瞰

2018年3月24日(土)、展示面積が従来の1.7倍の約9,400平方メートルとなり、日本を代表する航空宇宙専門博物館「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」がオープンします。先人の空・宇宙への憧れ、挑戦の物語を伝え、子どもたちにチャレンジスピリットと感動を与える博物館として生まれ変わります。



シンボル展示1「ライトフライヤー」と「サルムソン」



シンボル展示2「飛燕」と「零戦」

## 日本の航空機産業は、各務原初飛行から始まった

これまでも展示されてきた「サルムソン(復元機)」に、米国のライト兄弟が人類初の有人動力飛行に成功した「ライトフライヤー」の実寸大模型が加わります。更に、大戦期に各務原で最も多く生産され、今回のリニューアルに合わせてレストアされた「飛燕」の実機、そして各務原で初飛行を行った「零戦(十二試艦上戦闘機一〇一型)」の実寸大模型を新設します。また、日本最多を誇る実機を年代ごとに配置。人類が空に挑んだ歴史や挑戦の物語をわかりやすく展示し、国内初の「航空技術の歴史が俯瞰できる博物館」を目指します。

## 世界と連携し、博物館が生まれ変わります。

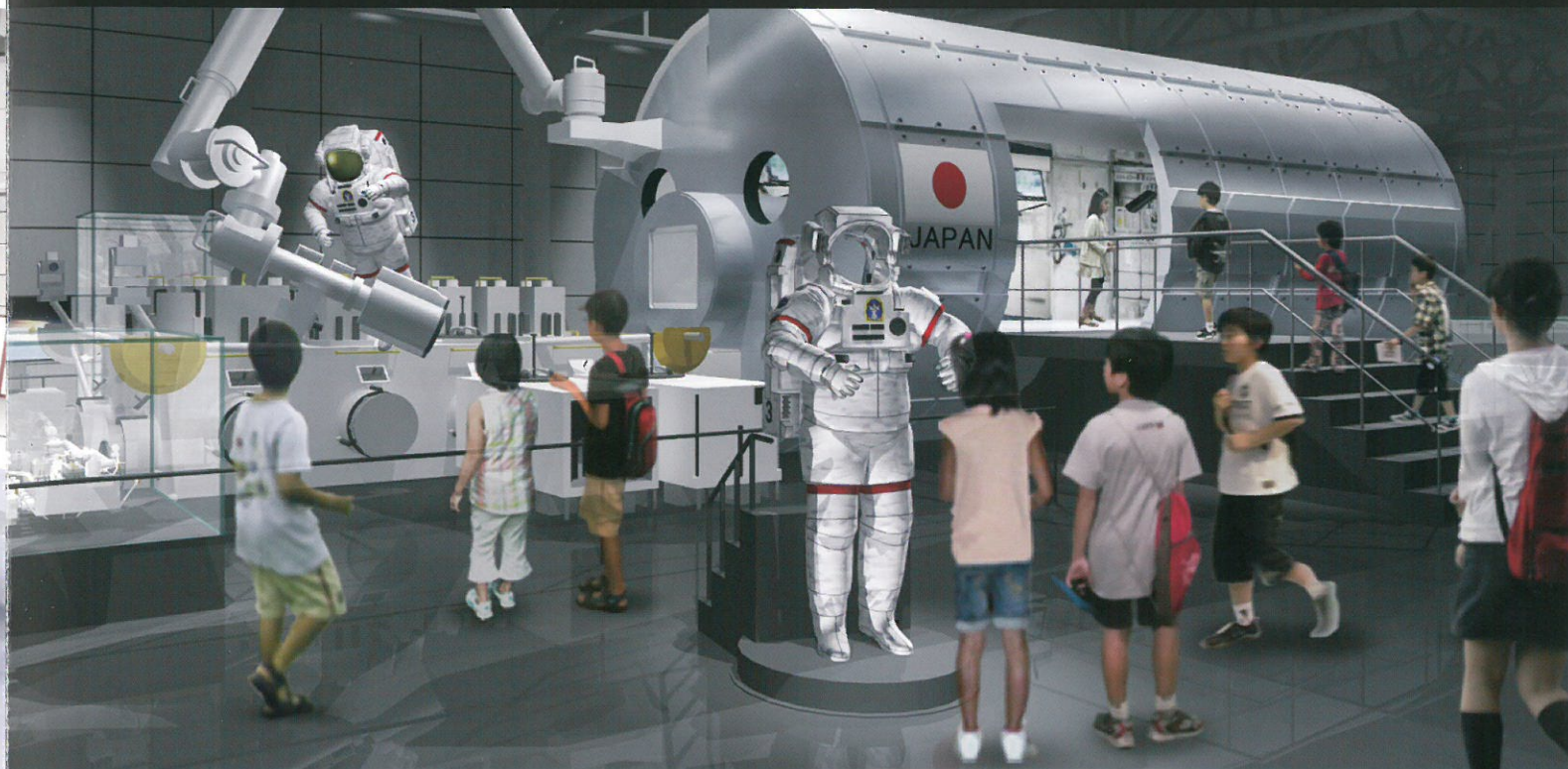
国内最多の貴重な航空機の実機を所蔵する博物館として、設立以来多くの人びとに愛されてきた「かかみがはら航空宇宙科学博物館」。開設20年を経て、2018年3月に人類の航空宇宙技術史俯瞰する、日本を代表する博物館として生まれ変わります。米国スミソニアン航空宇宙博物館やNASAと連携し、展示物の貸借、展示・企画手法、調査研究をはじめとした国際交流、国際協力も進めます。

## リニューアルスケジュール(予定)

- 2016.11.19 プレオープン 収蔵庫展示開始 飛燕など先行展示
- 2017.4.1 収蔵庫展示追加 ロケットエンジン「LE-7」、衛星「かけはし」(熱試験モデル)、「きらり」実寸大模型などを先行展示
- 2018.3.24 リニューアルオープン

※最新情報は博物館ホームページでご確認下さい。

# 宙 | 人類の宇宙への挑戦の物語と、最新テクノロジーを発信する「宇宙エリア」



人類の宇宙への挑戦史・宇宙開発技術の変遷を体感

アポロ計画やスペースシャトルをはじめとした人類の宇宙への挑戦の物語を映像で紹介するとともに、現在の宇宙開発の舞台であるISSの日本実験棟「きぼう」や、日本を代表する探査機「はやぶさ2」の実寸大模型などを新設します。さらに、現在、火星探査を行っている「キュリオシティ」の実寸大模型など最先端の宇宙開発をいち早く紹介し、国内初の「人類の宇宙への挑戦史・宇宙開発技術の変遷を俯瞰できる博物館」を目指します。宇宙における人類が到達した距離とその手段をテーマに、宇宙開発に関わるさまざまな展示や、体験装置、映像等を交え、人類の宇宙への挑みを伝えます。

## 見て、学んで、参加して、一日中楽しめる!

カフェやショップも充実。学習プログラムやツアーなども定期的に開催予定。全国人工衛星・探査機模型製作コンテストの優秀作品が博物館の展示に。その他、大人気の航空機シミュレータやハンズオン展示も引き続き公開。



ロケット開発の歴史



人工衛星の仕組みとはたらき



## かかみがはら航空宇宙科学博物館

2016年11月19日から、収蔵庫でプレオープン!!

開館時間=午前9時30分~午後4時30分

休館日=毎週火曜日

(火曜日が祝日および振替休日の場合は開館し、翌平日が休館)

名鉄各務原線「各務原市役所前駅」下車、ふれあいバス稲羽線(平日・休日)および川島線「各務原市役所前停留所」で乗車、「航空宇宙科学博物館前停留所」下車

最新情報は博物館ホームページでご確認下さい。

